

科学分野における 民間ユネスコ活動について

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 理事 鈴木 郁香



はじめに・・・

専門小委員会の再編成にあたり、 普及小委員会より以下3名が科学小委員会へ



旭川ユネスコ協会 **林 朋子**



はやし内科胃腸科小児科医院 副院長



岐阜県ユネスコ協会 **箕浦 有見子**

インテリアコーディネーター

こども造形絵画教室主宰

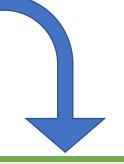


日本ユネスコ協会連盟 **鈴木 郁香** (**柏ユネスコ協会**)

小学校教諭 ESD日本ユース

民間ユネスコ運動について①

- 1947年 仙台ユネスコ協(力)会 発足
- 1948年 日本ユネスコ協(力)会連盟(NGO)設立
- 1951年 日本のUNECO加盟



現在、276のユネスコ協会・クラブ

教育

科学

文化

コミュニケーション

青少年育成

SDGs

ジオパーク

国際理解

国際協力

ESD

エコパーク

地域遺産

ユネスコスクール

世界遺産

自然・環境保護

民間ユネスコ運動について②

UNESCO

日本ユネスコ 国内委員会

企業・団体

協力·連携

公益社団法人

日本ユネスコ協会連盟

276のユネスコ協会・クラブの連合体 (活動支援・情報発信)

科学分野における民間ユネスコ活動

地域のユネスコ協会が主催・協力している活動(6事例)

会員と地域の方が一緒に取り組むESD活動

ビーチコーミング(鎌倉ユネスコ協会)

観察・研究の作品募集・展示

自然科学展(京都ユネスコ協会)

多様なステークホルダーが参画

成果発表会&交流会 (信州ESDコンソーシアム) 子ども達に科学の心を育てる

ユネスコ科学教室(浜松ユネスコ協会)

町ぐるみで取り組む

知床学(羅臼町)

オンラインシンポジウム

「国連海洋科学の10年」 シンポジウム(港ユネスコ協会)

日本ユネスコ協会連盟の活動(3事例)

未来遺産運動

アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト

鎌倉ユネスコ協会「ビーチコーミング」

2008年 事業開始

会員と地域の方が一緒に取り組むESD活動

海岸に漂着した貝殻、砂に埋まった陶片などを採集。専門家に鑑定して頂き、鎌倉の浜辺の生態系について学ぶ。





毎年恒例のビーチコーミング



鎌倉女子大学中等部約50名(1,3年生) 2020年12月18日実施

浜松ユネスコ協会「ユネスコ科学教室」

1958年~ 中学生対象

年9回活動

1987年~ 小学 5,6 年生対象

【34年間(32回開催)、修了生3,896名)】

「本物との出会い」を通して 「科学する心」を育てる



内容(一部)



「昆虫と植物」	チョウと植物、チョウの不思議
「水と生命」	微生物とホタル
「富士山の自然」	新五合目から宝永火口を歩こう
「郷土の自然史」	天竜川と岩石・岩石標本を作ろう
「秋の自然観察」	木の実探索
「宇宙への挑戦」	神秘な星の世界をのぞこう
「電波の不思議」	ラジオを作ろう

京都ユネスコ協会「自然観察展」

第59回京都ユネスコ協会自然観察展

応募校数:小学校32校、中学校13校、小中一貫校2校

作品数 : 小学生256点、中学生83点

応募部門:植物、動物、物理、化学、地学(鉱物・天文)、

科学工作

審査員 : 京都市青少年科学センター専門主事5名

優秀作品:小学生25点、中学生14点

展示期日:10月26日(土)27日(日)

参観者 :約738名





身近な動植物の生態や自然界と人間との関わりを観察や実験したりすることによって、 児童・生徒の**自然への関心や理解を深め、環境問題にも目を向ける機会の提供**

羅臼町「知床学」

ユネスコスクール

全幼・学校が登録(2012) 、幼 2 小 2 中 1 高 1

 知床ユネスコ協会 (2007) 北海道ユネスコ連絡協議会

知床世界自然遺産

(2005)



羅臼町

教育委員会 教員研修

地域学習

郷土の歴史 他地域交流学習 ボランティア活動 次世代育成 持続可能なまちづくり

第70回民間ユネスコ運動全国大会@知床(2014)

「持続可能な社会の構築をめざして」

信州ESDコンソーシアム成果発表会&交流会

令和2年度 SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業

信州ESDコンソーシアム成果発表®交流会

ESD(Education of Sustainable Development)は、これから目指すべき持続可能な社会づく りの担い手を育む教育です。新しい学習指導要領全体の基盤となる理念として、またSDGs(持続 可能な開発目標)連減の鍵として、注目が集まるESD。この感果発表&交流会では、各校でESDの 学びを実践している子どもたちが、学びの成果を発表し、また交流を通してその学びを深めます。 今回は長野型内だけでなく、各地のユネスコエコバークでESDを実践している学校も、オンラインでつながります。

日時: 2021年2月6日⊕

10:00 ~ 16:00

会 場:オンライン開催

参加費 無料/事前申し込み必要: 2月4日 (木) 締め切り

- ・長野県内のESD実践校
- ・長野県内のユネスコスクール
- ・全国各地のエコパーク地域の実践校 など18校の成果発表

信州ESDコンソーシアム

信州大学、ユネスコスクール、教育委員会、ユネスコ協会(6協会)、NGO、企業などが参画







港ユネスコ協会「国連海洋科学の10年」シンポジウム



主催:港ユネスコ協会 共催:港区教育委員会

- * コロナ禍で対面とオンライン(zoom)のハイブリッド開催
- * IOC主査の道田豊氏など、海洋の専門家が講師
- * 積極的にITCを採用し、社会教育活動 (海洋リテラシーを向上させ、市民の参画を促す)

~海洋の専門家の視点に学ぶ~

地域ユネスコ活動への提案を共有

- 海の豊かさをを守るための活動は、毎日の暮らしから
 - ・・・海ゴミ、海洋プラスチック
- 身近な海洋や河川での子どもの頃の体験が大切
- 公式及び非公式教育の重要性の認識と実践の紹介
- ○コロナ禍で、ゆとりのない家庭ほど

子どもたちの体験の場が少ないことに注意

会場での参加者:23名

オンラインでの参加者:57名

その他、地域で行われている活動

団体名	主な 事業名	内容
青森県 青森県ユネスコ協会	世界遺産白神山地自然体験セミナー	協会会員を中心に一般市民にも、世界遺産白神山 地に関する見学や植樹を行うツアーを実施
東京都 杉並ユネスコ協会	親子科学教室	小学生の子どもと親が対象。昨年度は「電気と磁石の世界」電気の工作(グリップモーター)を作成
静岡県 磐田ユネスコ協会	桶ヵ谷沼でのトンボ観察会	中高生に呼び掛けて、桶ヵ谷沼の自然調査、トンボの生息数を観測
富山県 富山ユネスコ協会	ユネスコ科学フェスティバルin ワンダー・ラボ	北陸電力の協力を得て、富山市内のユネスコス クールの生徒を対象に科学に触れてもらう機会を 提供
岡山県 岡山ユネスコ協会	ユネスコ地球環境講座	一般市民を対象に、自然観察を中心とした課外講 座を実施

キャンプ事業を行っている協会

奈良ユネスコ協会、杉並ユネスコ協会、目黒ユネスコ協会、仙台ユネスコ協会 アルムニユネスコクラブ、千葉ユネスコ連絡協議会、高崎ユネスコ協会、 山梨市ユネスコ協会、釧路ユネスコ協会、厚木ユネスコ協会、防府ユネスコ協会 等

未来遺産運動

失われつつある豊かな自然や文化を 100年後の子どもたちの未来に残そうとする活動を

「プロジェクト未来遺産」として登録して応援



創作組踊「糸蒲の縁」で地域の子ども達を育み新たな文化を繋ぐ(沖縄県中頭郡中城村)



秋田の聖農・石川理紀之助の教えの継承と「草木谷」の環境保全活動(秋田県潟上市)

累計73プロジェクトを登録(37都道府県)

(2019年度新規登録3プロジェクト)

アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

2014年度~ 小学校・中学校・高等学校の防災・減災教育を支援

活動助成	防災・減災教育を本格的に始めるきっかけになるよう 1校につき10万円助成 (2019年度は19都府県・35校)
教員研修会	全国の助成校の先生方を対象に、気仙沼市で2泊3日の研修を実施。 被災状況や教育復興の教訓を学ぶとともに、ESDやSDGsを踏まえた防災・減災教育の基礎理論、カリキュラムマネジメント、災害科学科を有する宮城県の高校の実践事例などを学ぶ。
活動報告・フォーラム	助成校の活動報告 パネルディスカッション ワークショップ 先進事例の報告 海外の事例報告

熊本県・南阿蘇中学校で行われた避難所運営訓練

ユネスコスクール SDGsアシストプロジェクト

SDGs達成に向けたESDの実践に対し助成

プロジェクト名:「らうす昆布図鑑」づくり

羅臼町立羅臼小学校(北海道)

対象:全学年146人(5学年22人が主体)

町の特産である「羅臼昆布」を探求課題とし、昆布の生態や自然環境、製品化、流通などに目を向けながら、包括的に

ふるさと羅臼を捉える学習 を展開しました。

助成金の使途

フィールドワーク交通費、講師料、図鑑制作関連費用、水質検査キット、たもあみ等



プロジェクト名: ひのきの森プロジェクト

多摩市立東寺方小学校(東京都)

対象:6学年69人

学校林「ひのきの森」をテーマに、SDGs実現に向けて、再生可能エネルギーを活用したイルミネーションや森のマッ

プづくりなど、具体的な取り 組みを考え実行しました。

助成金の使途

謝金、消耗品(発電用モーター、 風力・水力発電装置、LEDテー プライト、ソーラーケーブル・パ ネル、鉛蓄電池など)



2019年度 事業成果 活動校

事業開始年

115校

参加した児童生徒

2万1736名

2009年度 累計助成校

のべ973校

協力:株式会社三菱UFJ銀行

科学分野の普及活動について

自然科学及び人文社会科学合同小委員会の議事録より 科学分野の普及活動について話題になっていた事柄

「国連海洋科学の10年」様々なステークホルダーとの連携

「国連海洋科学の10年」ワークショップ等で関心を高める

日本ユネスコ国内委員会の活動発信(WEB,冊子)

「ジオパーク」「エコパーク」の認知度向上

「ジオパーク」「エコパーク」をきっかけに地域教育の整備

科学分野の普及活動について

地域ユネスコ協会との橋渡し

既存事業の更なる発展・新規事業の展開 (他の団体・企業との協力・連携、勉強会、講演会・シンポジウムの実施など)

活動のきっかけとなり得る学びの場づくり

ブロック別(9地域)の研究会や、全国大会での講演会等

日本ユネスコ協会連盟youtubeチャンネルを活用・発信

科学小委員会の皆様と連携して取り組んで参りたい

ご清聴ありがとうございました



旭川ユネスコ協会の主な活動

・ユネスコの森づくり、ミズナラ植樹事業 ・外国青年日本語主張発表 ・小中学校ユネスコ作文コンクール・寺子屋キャンペーン ・ユネスコ創造都市ネットワーク(デザイン)2019年認証後の旭川デザインウィークでの協働





岐阜県ユネスコ協会の主な活動

- ・青少年グランプリ ・ わたしのまちのたからものの絵画展
- ・各小学校のサイエンス授業に参加
- ・研修旅行(エコに取り組む工場見学など)
- **箕浦有見子**・ESD 発表会・青年カンボジアスタディツアー





鈴木 郁香

<u>柏ユネスコ協会の主な活動</u>

- ・英会話教室 ・わたしの町のたからもの絵画展
- ・姉妹都市からの派遣青少年歓迎行事
- ・柏ユネスコ少年団運営・市民かるた大会運営
- ・柏ユネスコ・ユース(青年部)の活動



どうぞよろしくお願いいたします